

2018年3月期 第3四半期決算説明会

2018年1月31日

目次

1. 2018年3月期 第3四半期決算概要 ————— p.3-6
2. 2018年3月期 通期業績予想 ————— p.7-10
3. セグメント別状況 ————— p.11-16

(添付) 定期コンテナ船事業合併会社
事業開始に向けた進捗状況報告

1. 2018年3月期第3四半期決算概要

▶ 対前年同期比 大幅な増収・増益

コンテナ船、ドライバルクの貨物輸送需要の増加により市況の回復が続く
当期純利益は、構造改革に伴う特別損失を計上した前年同期より改善し黒字に転換

- ▶ 定期船 荷動きは活発だが大型新造船の竣工量も多く、スポット運賃はやや弱含み
2Qより事業統合会社（ONE社）を持分法適用会社として連結決算に取り込み開始
- ▶ 航空運送 荷動き、運賃ともに高い水準を維持
- ▶ 物流 海上・航空では仕入れ価格の高止まりにより粗利が低下
一部地域のロジスティクスでは構造改革に着手
- ▶ 不定期専用船 ドライバルクは鉄鉱石、石炭、穀物等の太宗貨物の好調な荷動きが続く
市況は一進一退を繰り返しながらも順調に回復
タンカー市況は新造船竣工による需給ギャップ拡大により低位に推移
LNG・海洋事業は高稼働で安定的に収益へ貢献
自動車輸送は、資源国向けは低調なるも、北米・欧州向けの輸送量が堅調

▶ 対前年同期比 大幅な増収・増益

(億円)	17/3期						18/3期				1-3Q 累計 増減
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	
売上高	4,707	4,578	4,859	14,145	5,093	19,238	5,217	5,425	5,663	16,306	2,160
営業損益	▲109	▲115	69	▲155	▲25	▲180	35	91	120	248	403
経常損益	▲99	▲136	259	22	▲12	10	102	117	135	356	333
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲127	▲2,190	57	▲2,260	▲396	▲2,657	53	8	105	168	2,428
為替レート	¥111.12	¥103.50	¥106.13	¥106.92	¥114.29	¥108.76	¥111.48	¥110.92	¥112.65	¥111.68	+ ¥4.76
燃料油価格	\$192.62	\$238.71	\$270.71	\$234.02	\$312.94	\$253.75	\$326.72	\$316.32	\$339.76	\$327.60	+ \$93.58

前年同期比較（セグメント別）

3Q決算



- ▶ コンテナ船・ドライバルクの貨物輸送需要の増加により、市況回復傾向が継続
- ▶ 物流は仕入れ価格の高止まりにより減益

事業セグメント (億円)	17/3期						18/3期				1-3Q 累計増減	
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計		
一般貨物輸送事業	定期船	1,414 ▲88	1,391 ▲64	1,498 39	4,304 ▲113	1,554 ▲13	5,859 ▲127	1,715 57	1,790 76	1,768 38	5,273 172	969 286
	航空運送	190 ▲19	194 ▲14	225 22	610 ▲12	209 38	819 26	233 7	237 ▲8	258 8	729 7	119 20
	物流	1,138 21	1,119 24	1,180 20	3,438 67	1,175 9	4,613 76	1,189 ▲0	1,277 13	1,356 10	3,823 22	385 ▲44
	(単純合計)	2,743 ▲86	2,706 ▲54	2,904 82	8,353 ▲58	2,938 34	11,291 ▲24	3,139 63	3,305 81	3,382 58	9,827 203	1,474 262
不定期専用船	1,801 ▲8	1,696 ▲85	1,766 80	5,264 ▲14	1,912 ▲27	7,177 ▲41	1,889 27	1,922 22	2,055 65	5,867 115	602 130	
その他事業	不動産	24 9	24 9	25 94	74 113	20 7	94 120	19 6	19 8	19 6	58 21	▲15 ▲92
	その他	320 ▲6	345 1	370 6	1,037 1	428 ▲16	1,466 ▲14	390 11	400 9	466 10	1,257 31	220 29
消去・全社	▲182 ▲7	▲193 ▲7	▲207 ▲4	▲584 ▲18	▲206 ▲10	▲790 ▲29	▲222 ▲6	▲221 ▲4	▲261 ▲5	▲705 ▲16	▲121 2	
連結	4,707 ▲99	4,578 ▲136	4,859 259	14,145 22	5,093 ▲12	19,238 10	5,217 102	5,425 117	5,663 135	16,306 356	2,160 333	

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

© 2018. NYK Group. All rights reserved.

(億円)

円安	16	今期 111.68円/\$, 4.76円の円安
燃料油高	▲90	今期 \$327.60/MT, \$93.58の上昇
海運市況変動等	388	
コスト削減	17	
為替差損益	35	
その他	▲33	(含、構造改革効果 80、不動産の一時収益剥落約 ▲85)
合計	333	

- ▶ 前年同期比 大幅な増収、業績は改善
- ▶ 前回予想比 一過性費用(約70億円)の計上を見込み、経常段階で減益なるも回復基調は変わらず
- ▶ 当期純利益 特別利益で一定の利益を確保し当期純利益据え置き
- ▶ 期末配当 20円/株 の復配を予定
回復基調にある海運市況と構造改革等の諸施策により
収益性の回復に一定の目途が立ったと判断

- 定期船 荷動きは堅調で黒字化を見込むが、ONE社統合準備費用(持分法)の増加(一過性費用)により前回予想比減益
- 航空運送 前年の一時収益が剥離するも堅調な荷動きに支えられ実質増益予想
- 物流 海上・航空では仕入れ価格の高止まりにより、粗利改善には時間を要す
郵船ロジスティクスを完全子会社化、4Qより連結決算に反映予定

- 不定期専用船 前回予想比若干の減益
 - ・ドライバルク市況の改善とLNG・海洋事業の安定的な収益で回復基調は不変
 - ・タンカー市況は低調
 - ・LNG・海洋事業の持分法適用会社で一過性損失計上を見込む
 - ・自動車船の往復航貨物インバランスが拡大

- 不動産 前年の一時収益が剥離し前年同期比減益となるが、引き続き安定的に利益計上

(億円)	17/3期 (実績)					通期	18/3期 (予想)					通期増減	前回予想比 (通期)
	上期		下期		通期		上期(実)		下期		通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q(実)	4Q			
売上高	9,285		9,952		19,238	10,642		11,078		21,720	2,482	190	
	4,707	4,578	4,859	5,093		5,217	5,425	5,663	5,415				
営業損益	▲224		43		▲180	127		173		300	480	▲30	
	▲109	▲115	69	▲25		35	91	120	52				
経常損益	▲236		246		10	220		50		270	260	▲80	
	▲99	▲136	259	▲12		102	117	135	▲85				
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲2,318		▲339		▲2,657	62		48		110	2,767	0	
	▲127	▲2,190	57	▲396		53	8	105	▲57				

為替レート	¥111.12	¥103.50	¥106.13	¥114.29	¥108.76	¥111.48	¥110.92	¥112.65	¥110.00	¥111.26	+ ¥2.50
燃料油価格	\$192.62	\$238.71	\$270.71	\$312.94	\$253.75	\$326.72	\$316.32	\$339.76	\$390.00	\$343.20	+\$89.45

▶ 経常利益に対する感応度 (4Q)

- 為替レート : 1円の円安で約0.4億円/4Qの増益
- 燃料油価格 : \$10/MTの燃料油価格下落で約2.6億円/4Qの増益

▶ 配当 期末配当は20円/株を予定

通期業績予想 (セグメント別)

業績予想



事業セグメント (億円)		17/3期 (実績)							18/3期 (予想)							通期 増減
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期 (実)	3Q (実)	4Q	下期	通期	
一般貨物輸送事業	定期船	1,414	1,391	2,805	1,498	1,554	3,053	5,859	1,715	1,790	3,505	1,768	1,687	3,455	6,960	1,101
		▲88	▲64	▲153	39	▲13	25	▲127	57	76	133	38	▲81	▲43	90	217
	航空運送	190	194	385	225	209	434	819	233	237	471	258	241	499	970	151
		▲19	▲14	▲34	22	38	61	26	7	▲8	▲0	8	▲4	5	5	▲21
物流		1,138	1,119	2,258	1,180	1,175	2,355	4,613	1,189	1,277	2,467	1,356	1,287	2,643	5,110	497
		21	24	46	20	9	30	76	▲0	13	12	10	7	17	30	▲46
(単純合計)		2,743	2,706	5,449	2,904	2,938	5,842	11,291	3,139	3,305	6,444	3,382	3,214	6,596	13,040	1,749
		▲86	▲54	▲141	82	34	116	▲24	63	81	145	58	▲78	▲20	125	149
不定期専用船事業	不定期専用船	1,801	1,696	3,498	1,766	1,912	3,679	7,177	1,889	1,922	3,812	2,055	2,023	4,078	7,890	713
		▲8	▲85	▲94	80	▲27	52	▲41	27	22	50	65	0	65	115	156
その他事業	不動産	24	24	48	25	20	45	94	19	19	39	19	22	41	80	▲14
		9	9	18	94	7	101	120	6	8	14	6	4	11	25	▲95
	その他	320	345	666	370	428	799	1,466	390	400	791	466	413	879	1,670	204
		▲6	1	▲5	6	▲16	▲9	▲14	11	9	20	10	▲5	5	25	39
消去・全社		▲182	▲193	▲376	▲207	▲206	▲414	▲790	▲222	▲221	▲444	▲261	▲255	▲516	▲960	▲170
		▲7	▲7	▲14	▲4	▲10	▲15	▲29	▲6	▲4	▲10	▲5	▲5	▲10	▲20	9
連結		4,707	4,578	9,285	4,859	5,093	9,952	19,238	5,217	5,425	10,642	5,663	5,415	11,078	21,720	2,482
		▲99	▲136	▲236	259	▲12	246	10	102	117	220	135	▲85	50	270	260

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

➤ 季節要因はあるが、定期船・ドライバルクの貨物輸送需要は底堅く市況は回復傾向を持続

通期業績予想 (セグメント別・前回今回予想比較)

業績予想



事業セグメント (億円)	前回予想			今回予想					前回予想差	
	上期	下期	通期	上期(実)	3Q(実)	4Q	下期	通期	通期	
一般貨物輸送事業	定期船	3,505	3,445	6,950	3,505	1,768	1,687	3,455	6,960	10
		133	2	135	133	38	▲81	▲43	90	▲45
	航空運送	471	479	950	471	258	241	499	970	20
		▲0	5	5	▲0	8	▲4	5	5	0
物流		2,467	2,653	5,120	2,467	1,356	1,287	2,643	5,110	▲10
		12	37	50	12	10	7	17	30	▲20
(単純合計)		6,444	6,577	13,020	6,444	3,382	3,214	6,596	13,040	20
		145	44	190	145	58	▲78	▲20	125	▲65
不定期専用船事業	不定期専用船	3,812	3,898	7,710	3,812	2,055	2,023	4,078	7,890	180
		50	79	130	50	65	0	65	115	▲15
その他事業	不動産	39	41	80	39	19	22	41	80	0
		14	11	25	14	6	4	11	25	0
その他		791	819	1,610	791	466	413	879	1,670	60
		20	5	25	20	10	▲5	5	25	0
消去・全社		▲444	▲446	▲890	▲444	▲261	▲255	▲516	▲960	▲70
		▲10	▲10	▲20	▲10	▲5	▲5	▲10	▲20	0
連結		10,642	10,888	21,530	10,642	5,663	5,415	11,078	21,720	190
		220	130	350	220	135	▲85	50	270	▲80

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

- ONE社統合準備費用(持分法)の増加、物流事業の回復遅延
- LNG・海洋事業の持分法適用会社で一過性損失を計上見込み

- 定期船 4 Qは元々需要減退期にあるが、運賃修復を優先し積高を若干下方修正
- 航空運送 自動車、半導体等の関連貨物を中心に荷況活発でYield(運賃)は改善するも燃料価格の上昇により収支への効果は限定的
- 物流 海上・航空では仕入れ価格の高止まりにより、粗利改善には時間を要す一部地域のロジスティクスでは構造改革を進める
- 不定期専用船
 - ドライバルク部門 荷動きは堅調、市況は季節性を伴いながら緩やかな回復傾向を持続
 - リキッド部門 タンカー市況は需要期にも関わらず盛り上がり欠け予想を下方修正LNG・海洋事業は引き続き高稼働を見込む
 - 自動車輸送部門 日本出し貨物は欧米向けが好調なるも、資源国向けは低迷往復航貨物のインバランスは改善に至らず

▶ 1. 定期船事業 – コンテナ船

輸送量・消席率 (1,000TEU)

	17/3期(実績)					18/3期(予想)					
	上期		下期		通期	上期(実)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
アジア →北米 ()は前回予想値	輸送量	175	220	227	217	840	239	257	238	236	971
	()は前回予想値								(492)		(988)
消席率 ()は前回予想値	消席率	80%	92%	92%	90%	89%	91%	96%	92%	93%	93%
	()は前回予想値								(93%)		(93%)
アジア →欧州 ()は前回予想値	輸送量	117	128	124	129	498	166	176	157	160	659
	()は前回予想値								(343)		(685)
消席率 ()は前回予想値	消席率	91%	95%	97%	102%	96%	96%	95%	89%	94%	94%
	()は前回予想値								(95%)		(95%)

運賃推移 (指数表示 09/3期 1Q=100)

	17/3期(実績)					18/3期(予想)				
	上期		下期		通期	上期(実)		下期		通期
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q	
アジア→北米 ()は前回予想値	74	69	71	71	71	70	69	68	70	69
								(70)		(69)
アジア→欧州 ()は前回予想値	42	46	47	51	46	50	55	51	49	52
								(52)		(52)

▶ 2. 航空運送事業 (NCA)

	17/3期(実績)				通期	18/3期(予想)				通期	前回 予想比 (通期)
	上期		下期			上期(実)		下期(予)			
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
売上高(億円)	385		434		819	471		499		970	20
	190	194	225	209		233	237	258	241		
経常損益(億円)	▲34		61		26	▲0		5		5	0
	▲19	▲14	22	38		7	▲8	8	▲4		
輸送重量 千トン	246		263		510	286		273		560	▲5
	118	129	136	128		142	145	138	136		
輸送量(RTK) 百万トンキロ	1,493		1,582		3,075	1,703		1,658		3,362	▲5
	719	773	825	756		847	855	819	839		
供給量(ATK) 百万トンキロ	2,210		2,172		4,382	2,401		2,244		4,646	▲69
	1,080	1,130	1,121	1,050		1,180	1,221	1,111	1,132		
YIELD指数 09/3期 1Q=100	72		78		75	82		88		85	3
	74	71	79	77		81	82	91	85		
MOPS (ジェット燃料) US\$ per bbl	\$54		\$62		\$58	\$62		\$74		\$68	4
	\$54	\$54	\$60	\$64		\$61	\$64	\$73	\$75		

- 自動車、半導体等の関連貨物を中心に荷況活発でYield(運賃)は上昇
- 燃料価格の上昇により収支への効果は限定的

▶ 3. 物流事業：郵船ロジスティクス

		17/3期(実績)				通期	18/3期 (予想)				通期	前回予想比 (通期)
		上期		下期			上期(実)		下期			
		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q (実)	4Q		
海上 輸出	TEU (1,000TEU)	379		396		775	395		386		781	▲19
		186	193	203	193		195	200	200	187		
	前年同期比	28%		17%		22%	4%		▲2%		1%	▲2%
		35%	22%	21%	14%		5%	3%	▲2%	▲3%		
航空 輸出	重量 (1,000トン)	177		193		369	184		189		373	▲1
		86	91	101	91		88	96	98	91		
	前年同期比	7%		15%		11%	4%		▲2%		1%	0%
		4%	9%	16%	15%		2%	6%	▲4%	0%		

- ▶
海上事業
通期予想では、前年比で取扱い増を見込む
引き続き粗利の改善に取り組む
- ▶
航空事業
通期予想では、前年比で取扱い増を見込むが、日本・欧州では減少
- ▶
ロジスティクス事業
米州の内陸輸送で取扱いが低迷
サービスの拡充、積極投資(M&A)を推進

▶ 4. 不定期専用船事業 - 1) ドライバルカー・タンカー市況動向

	17/3期(実績)					18/3期(予想)					前回予想 (通期)
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q(実)	3Q(実)	4Q	通期	
ドライバルカー											
BDI	610	736	997	936	820	1,018	1,137	1,519	1,118	1,198	1,127
Cape (5TC)	6,684	8,080	11,983	10,970	9,429	12,231	14,632	23,331	14,000	16,048	14,091
Panamax (Pac)	4,546	5,743	7,338	7,481	6,277	8,304	9,811	11,271	9,500	9,721	9,654
Handymax (Pac)	4,836	6,509	5,841	5,972	5,789	7,832	8,657	9,239	9,000	8,682	9,123
Handy (Pac)	3,951	5,755	5,895	5,812	5,353	6,778	7,112	8,640	7,500	7,508	7,723
タンカー											
VLCC	43,686	19,549	49,208	31,483	35,982	22,582	13,541	23,099	25,000	21,056	29,031

※ドライバルク船型別市況 (スポット傭船料) 5TC = 5航路平均、Pac = 太平洋ラウンド 単位 = \$/day

- ドライバルク部門 荷動きは堅調、市況は季節性を伴いながら緩やかな回復傾向を継続
- リキッド部門 タンカー市況は、需要期にも関わらず盛り上がり欠け予想を下方修正
LNG・海洋事業は引き続き高稼働を見込む

▶ 4. 不定期専用船事業 - 2) 自動車船

	17/3期(実績)				通期	18/3期 (予想)				通期	前回予想比 (通期)
	上期		下期			上期(実)		下期			
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q (実)	4Q		
輸送台数 (万台)	167		169		336	179		183		363	4
	84	83	86	83		88	91	94	89		
前年同期比	▲11%		▲7%		▲9%	7%		8%		8%	1%
	▲11%	▲11%	▲12%	▲1%		5%	10%	9%	7%		

- 日本出し貨物は欧米向けが好調なるも、資源国向けは低迷
- 往復航貨物のインバランスは改善に至らず

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

定期コンテナ船事業合併会社事業開始に向けた進捗状況報告

2018年1月31日

統合作業の進捗状況 (1/3)

- 全体の進捗状況：当初の想定から変更無し
- **本年2月1日より、順次ブッキングの受付開始**



新デザインコンテナ 準備開始 17年11月



シンガポール本社Marina One 新事務所 1月19日グランドオープン



統合作業の進捗状況 (2/3)

地域統括拠点/現地法人 設立状況

- 全ての地域統括拠点（シンガポール、香港、英国、アメリカ、ブラジル）および日本総代理店ONE JAPANで業務開始(17年10月)
- シンガポール本社 Marina One を1月19日から正式開業。
- その他各国現地法人も、計49カ国で設立完了し、営業開始。

独禁法認可

- 南アフリカ共和国認可取得（2018年1月18日）を以て、統合事業に必要な手続きは、全て完了。

顧客との輸送契約 (入札)

- 2018年4月以降発効の年間契約について順次応札中。
- 2018年サービススケジュールの発表（1月26日）

ベンダー契約

- 2018年4月以降発効のベンダー契約に就いて交渉中。

統合作業の進捗状況 (3/3)

ITインフラ

- ブッキング受付に合わせ、基幹システムの稼働開始 (18年2月)
- E-commerce : 顧客利便性を追求した多機能ホームページを開設 (18年2月)

カスタマーサービス

- ONEとしてのサービス開始船を公表。邦船3社からのサービス切り替えに伴う顧客向け案内も発信
- ONE新ブランドウェブサイトを開設
- カスタマーニュースレターを定期配信
- ONEサービスマップの公開 (THE Allianceサービス)

新造コンテナ発注

- 4月のサービス開始に向け、新造コンテナを発注 (10,000 x 40'ハイキューブコンテナ)

2018年4月サービス開始に向け、最終準備を進めて行きます